



12月 町屋幼稚園だより

令和7年11月29日

荒川区立町屋幼稚園

園長 関川 浩

自然に触れながら

主任教諭

朝晩の冷え込みがぐっと厳しい季節になりました。町屋幼稚園の園庭ではその寒さを楽しむかのようにきれいな落ち葉が嬉しそうに舞っています。11月は秋の自然に親しむ機会がたくさんありました。子どもたちは園庭や第七峡田小学校のみどりの小路など恵まれた自然環境の中で、身近な自然にたくさん触っています。園の畠で栽培したサツマイモを収穫しておいしく食べることもできました。春に苗を植え、暑い夏を乗り越えて、半年間大切に育ててきたサツマイモ。苗から育てたことは貴重な経験になったようです。次は来年の収穫に向けて、まだ小さなタマネギやイチゴの苗を、生長を楽しみに栽培しています。

荒川自然公園への遠足では、秋晴れのお天気の中、たくさんの自然に触れることができました。「おもしろい形の葉っぱがあったよ！」「すごく小さい赤ちゃんドングリだよ！」と、落ち葉にも様々な色や大きさがあること、ドングリにもいろいろな形や種類があることに気付き、美しさや不思議さを感じていました。ネットやテレビなどを通した間接的な体験が増え、直接自然に触れることで美しさや不思議さに心を動かす体験をすることが少なくなっています。幼児期に直接的・具体的な体験を重ねることは、小学校以降の生活や学習で様々な事象に関心をもち、深く理解していくことへの基盤にもなります。これからも直接的な体験を楽しむことを通して、たくさん心を動かしてほしいと願っています。

本年も幼稚園の活動にあたたかいご理解・ご協力をいただきありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。

«今月のねらい»

- 【年 中】 ○自分の思いを出したり友達の動きに関心をもったりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
○学級の友達とみんなで活動する楽しさを感じる。
○季節の行事や習慣に関心をもち、雰囲気を味わう。



園庭のプランターに
野菜の種をまきました。



園庭や荒川自然公園で秋の自然をたくさん発見しました。毎日の遊びに取り入れて楽しみました。

